

大阪府吹連

<http://www.osakasuiaren.com>

2020年12月19日、20日、26日、27日に、八尾市文化会館プリズムホールにて第47回大阪府アンサンブルコンテストを開催いたしました。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、コンクール、マーチングコンテスト等が相次いで中止となり、ようやく開催できたのが、このアンサンブルコンテストでした。

慎重に慎重を重ね感染防止対策を行い、出演者並びに関係者の皆様方、補助員の皆様、実行委員の先生方、並びに八尾市文化会館の方々のご協力とご理解により無事終えることができ、心より御礼申し上げます。また、練習場所や時間を充分確保できない中、出演していただいた皆

様に、もう一度拍手と感謝の気持ちを送りたい想いでいっぱいです。

参加団体数は、小学生2、中学校128、高校95、大学6、職場・一般10の計241団体と、部門によっては昨年度よりも増加しており、皆様方の吹奏楽活動への熱い想いを受け取った気がしました。また今年度から、中、高の部門において、二日間を通じて関西大会に出演される団体を選出いたしました。選出された13団体は、2月11日に京都コンサートホールにて開催された関西大会に出演し、府大会よりもさらに磨きのかかった熱演を披露されました。寒い中、練習に取り組んだ出演者の皆様、素晴らしい演奏をありがとうございました。

3月には「ブラスエキスポ2021」の参加要項もお手元に届きますので、参加申し込みをよろしくお願いいたします。

兵庫県吹連

<http://www.hyougokensuiaren.com>

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、吹奏楽コンクールとマーチングコンテストは中止せざるを得ませんでした。しかし、アンサンブルコンテストは、1月16日(土)中学校部門、17日(日)高等学校部門、(高砂市文化会館)、そして、24日(日)小学生部門、職場一般部門(あわじ市立しづかホール)と、全部門予定通り開催することができました。職場一般部門は、今まで通りの活動をするのが難しいのか、残念ながら参加数が減少しました。逆に、中学校・高等学校部門は、日頃の発表の機会がほとんどなくなったためか、参加数が増加しました。ともあれ、吹奏楽の

催しが開催できたことを本当にうれしく思います。大会の運営は、万全のコロナ対策を講じて、今までにない労力を使い、緊張してあたりました。運営に携わってくださった皆さまに改めて感謝申し上げます。

本年度、指導者研修会は、3月14日(日)、豊岡市の日高文化体育館で、作曲家の八木澤教司先生を講師にお招きして開催いたします。八木澤先生は本年度4月から、兵庫県西宮市の神戸女学院大学で教鞭をとられており、兵庫県の吹奏楽発展のためにお力添えをいただきたいと思っております。今回は、但馬吹奏楽連盟中学校合同バンドをモデルバンドとして、八木澤先生の作品、「眩い星座になるために…」を題材として、吹奏楽演奏法、指導法について講習をしていただきます。実り多い講習会になることと期待しています。

京都府吹連

<http://www.kyoto-suiaren.jp/>

今年度のアンサンブルコンテストは12/26に中学校の部(八幡市文化センター)、1/5に小学生・高等学校の部(京都コンサートホール)、1/10に大学・職場一般の部(京都市右京ふれあい文化会館)で、新型コロナウイルス感染対策を充分に行った上で、出演者・引率者・関係者のみの無観客開催で実施いたしました。今年度は連盟が主体となる様々な行事を中止してしまいましたので、少人数のアンサンブル形態とはいえ、久しぶりの行事開催となりました。各部門とも出演団体が制限された練習の中、懸命に曲を仕上げている様子を見てみると、演奏している学生・メンバーだけでなく、指導者・関係者の皆様も含めてご苦労されていることがよくわかるコンテストで

した。参加された団体に敬意を表します。

また、2/11に京都コンサートホールで行われた「第47回関西アンサンブルコンテスト」は京都府吹連が主管し、たくさんの皆様に運営役員として関わっていただきました。厳重な感染対策を取る中、出演団体の、皆様にもご協力いただき、相当なご負担をおかけしたと思います。本当にありがとうございました。京都府からは龍谷大学と龍谷シンフォニックバンドが関西代表に選出されました。全日本アンサンブルコンテストでの素晴らしい演奏を期待しています。

最後になりましたが、「第20回京都さくらパレード」は、今年度も交歓コンサート会場およびパレードでの沿道で、どうしても密になる状況を避けられず、さらに感染対策を充分に行うことができないことから、中止とさせていただきます。楽しみにしていただいていた皆様には、本当に申し訳ございません。次年度こそ皆様と一緒に京都の春を彩る「京都さくらパレード」を開催できることを願っております。

滋賀県吹連

<http://shiga-suiaren.com>

滋賀においても、この一年間ずっと新型コロナウイルスによる影響の大きい年となりました。

昨年4月開催予定だった総会も、史上初の「書面議決方式」というこれまで経験したことのない方式での開催となりましたが、加盟団体の皆さまのご理解とご協力により、円滑に進めることができました。

また、吹奏楽祭・コンクール・マーチングコンテストは中止を余儀なくされ、特に小学6年生や中学3年生・高校3年生の吹奏楽部員にとって「最後の大会」の機会を奪う形になり、まさに断腸の思いでの決断

となりました。

そのような中「少人数での演奏となるアンサンブルコンテストについては、感染拡大防止対策を万全にした上でなら開催ができるのではないか」と判断し、12月末の中学校地区大会、1月の県大会を開催し、この大会に起因する感染拡大もなく、無事終演することができました。

新しい生活様式を踏まえた学校の行動基準における滋賀県の現在の地域の感染レベルは「レベル1」であり、多くの学校では制限されながらも練習ができていますが、大学・職場一般の各団体では練習を実施できないバンドがほとんどです。あらゆる世代の人々が心おきなく楽器演奏を楽しめる日が再びやって来ることを心から念願しています。

奈良県吹連

<http://www.ajba.or.jp/nara/>

創立61年目となった2020年度はこれまでにない試練の年でしたが、何とか下記の事業をやり遂げました。

○8月22日・23日・9月12日・13日 奈良県吹奏楽祭(コンクール代替事業) ○10月25日 BRASS AID ○10月31日にじいる吹奏楽 ○12月3日 アンサンブルフェスティバル ○1月16日・17日 アンサンブルコンテスト

これらの中でも、吹奏楽祭実施に関しては、県教育委員会と合名で「吹奏楽部活動に関する指針」を作成できたこと、また吹奏楽関係者から既知を得た奈良県立医大感染症センターの笠原教授に種々アドバイスをいただいたことは、

まさしく怪我の功名でした。さらに県内の企業やロータリークラブ、ライオンズクラブ、個人の方々からの協賛金を頂戴し、クラウドファンディングでも154名の方々から多額のご協力をいただきました。改めて、我々が取り組んできた吹奏楽の社会的な認知度と貢献度、そして「音楽は不要不急のものではない」ということを強く認識させていただいたところです。

奈良県吹奏楽連盟は、これからも「今まで通りできないからあきらめる」のではなく「こうすればできる」ことを目指し大切にして、活動に取り組んでいく所存です。



「にじいる吹奏楽」エンディング ゲストのブラックボトム brass バンドと小学生の合同演奏

和歌山県吹連

<http://www.ajba.or.jp/wakayama/>

1月17日(日)に、和歌山市民会館小ホールにて第49回和歌山県アンサンブルコンテストを開催いたしました。各地区予選では、中学校が123、高等学校が98の計221チームが参加し、県大会には中学校から30、高等学校から22、職場一般より1の計53チームが出場しました。なお、今大会はコロナウイルス感染防止のため無観客での開催となりました。練習時間や場所が制限されるなか、日々の練習成果を披露する参加者からは、演奏できる嬉しさが感じられる心のこもった音楽を聞くことができました。

さて今年和歌山では、関西吹奏楽コンクールが行われますが、夏には第45回全国高等学校総合文化祭、また秋には第36回国民文化祭が行われ、11月14日(日)には和歌山県民文化会館にて吹奏楽の祭典が開催されます。大きなイベントが立て続けの和歌山にご注目ください。吹奏楽の祭典に出演を希望される団体は、紀の国わかやま文化祭2021公式ホームページをご確認ください。

